



©Hisashi Yamamoto, Courtesy of Yumiko Chiba Associates

山本尚志 「入口と出口とフタと底」

Hisashi Yamamoto *ENTRANCE* ⇄ *EXIT* ⇄ *LID* ⇄ *BOTTOM*

会期：2019年12月7日（土） - 2020年1月22日（水）

*2019年12月27日（金）～2020年1月13日（月祝）の期間、展覧会は開催しておりません。

会場：Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#206

営業時間:12:00-19:00 定休日:日、月、祝日

オープニングレセプション：12月7日（土）18:00-20:00

2019年12月7日(土)より、Yumiko Chiba Associates viewing room shinjukuでは、山本尚志の「入口と出口とフタと底」を開催いたします。

このたび、書家の山本尚志の個展を開催いたします。山本は1969年に広島市に生まれ、20歳のときに書家・井上有一の書に出会ったことをきっかけとして本格的に書の世界を志しました。のちに山本は、井上のカタログレゾネの制作にも携わっています。

伝統的・旧来的な書に囚われない今日的な書のあり方を模索するなかで、山本は、「モノにモノの名前を書く」という方向性を確立しました。たとえば、山本の作品では、原始的な絵文字を思わせる、簡略化された図像のなかに、カタカナの単語などの簡潔な文字（＝モノの名前）が書かれます。これは、絵でも書でもない二重否定の書とは異なる、絵としての文字と文字としての書との唐突な接続、共存を模索するものであるとすることもできるでしょう。こうした山本の実践は同時に、現代美術と現代書道という、異なる二つの領域を横断しながら、アーティストとしての自己を確立する過程でもあったはずです。

従来 of 徒弟制度や書道団体とは距離を置きながら制作を進める山本の作品は、書における現在性、そして自由とはなにか、という問いに突き動かされたものでもあります。本展は、前半期が山本の個展、後半期は山本がキュレーションする書家のグループ展となる、二期に分けて開催いたします。



■アーティストステートメント

「入口と出口とフタと底」について

この世に入口と出口は存在するか。入口は母親だとしても、世の中には決定的な出口は存在しない。出口、すなわち突破口だと思っていたら、見事にフタをされて、どこにも行けない、なんてことは日常的にあるわけで、「うまくいかない」ことだらけの世の中に我々は何故か生を受け、何故だかこうして生きている。

ただこうして生きていて、なにかの瞬間に、「あ、今自分は生きている」と腑に落ちる瞬間がある。アスリートなら、好タイムが出たとか、演奏家なら、良い音が出せたとか、そのほかほんの些細なことでも、人は腑に落ちることがある。

私にとって先達の書家・井上有一はそれを作品制作において「底が抜ける」と表現した。私は彼を目標にしてここまでやってきたが、私にとっての「底」とは、実際に書いてみると、こんなものだという気分だ。

そしてそれは、出口なのかフタなのかと思っていたら、底、底と思っていたら入口、というようにまるで螺旋のような姿をしているに違いない。

山本尚志

■アーティストプロフィール

山本尚志 YAMAMOTO, Hisashi

1969年 広島市に生まれる

【主な展覧会】

- 2018年 個展「マド」(PLACE *by method*, 東京)
- 2018年 「ART SHODO TOKYO AUTUMN 2018」(三鷹市芸術文化センター、東京)出展、キュレーション
- 2018年 個展「トリプルタワー」(TMMT、東京)
- 2018年 「ART SHODO TOKYO SPRING 2018」(三鷹市芸術文化センター、東京)出展、キュレーション
- 2017年 個展「ドアと光と音とガラスと水」(gallery feel art zero、名古屋)
- 2017年 個展「バッジとタオルと段ボール」(Bギャラリー、東京)
- 2017年 個展「Speech balloon」(ギャラリーNOW、富山)
- 2017年 「現代アート書道の世界」(新宿高島屋美術画廊、東京)出展、キュレーション
- 2017年 「書の未来展」(伊藤藤青山アートスクエア、東京)出展、キュレーション
- 2017年 二人展「poison and small huts」(Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、東京) 出展、キュレーション
- 2016年 個展「flying saucer」(Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku、東京)
- 2015年 個展「マシーン」(パリ・ギャラリーメタノイア、東京・ウナックサロン)
- 2014年 個展「タワー」(東京・下北アートスペース、京都・アートフォーラムJARFO)
- 2013年 日・中現代精鋭書画家展「書と非書の際(きわ)」(京都文化博物館)
- 2011年～現在 作品ブログ「デイリー書道」に参加
- 2010年 一人快芸術(広島市現代美術館)
- 2009年～現在 文字区(東京芸術劇場ほか)
- 2008年 ソウル書芸ビエンナーレ(ソウル)
- 2006年 世界書芸祝祭(ソウル)
- 2004年～現在 天作会-井上有一に捧ぐ書の解放展-
- 1991年 ウナックトウキョウにて井上有一カタログレゾネのための作品整理に携わる。



■関連情報（展覧会）

「現代アート書道の世界2【記号と今】」

（2017年 Yumiko Chiba Associates 主催の同展の続編/キュレーション・山本尚志）

会期：2020年2月8日（土） - 3月7日（土）

会場：Yumiko Chiba Associates viewing room shinjuku

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#206

TEL: 03-6276-6731

www.ycassociates.co.jp

「現代書の新しい展望 -井上有一、そして【今】-」

会期：2020年2月27日（木） - 3月4日（水）

会場：福屋八丁堀本店 7階美術画廊

〒730-0021 広島県広島市中区胡町 6-26

TEL: 082-246-6111（代表）

www.fukuya-dept.co.jp/honten/garo/

「What's SHODO?」

会期：2020年3月（未定）

会場：MARUEIDO JAPAN / Gallery

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-23-1 アークヒルズフロントタワー1F

TEL: 03-5797-7040

www.marueidojapan.com

【本展に関するお問合せ】ぜひ貴社にて御紹介くださいますようお願い申し上げます。画像データの御依頼等は下記までご連絡下さい。

ユミコチバアソシエイツ オフィス

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-32-6 パークグレース新宿#205 [Tel] 03-6276-6731 [e-mail] info@ycassociates.co.jp

[website] www.ycassociates.co.jp [営業時間] 12:00-19:00 [定休日] 日・月・祝日

*年末年始休業：2019年12月28日（土） - 2020年1月6日（月）